

大分学習療法研究会だより 第2号

2013年9月11日（水）みずほ厚生センターにおいて、第3回大分学習療法理事会&育成士PJ会を開催いたしました。

■大分学習療法研究会会長 挨拶 （グランドホーム古国府 施設長 首藤毅志）



開会に先立ち挨拶する首藤会長

本会の設立総会から2ヶ月余り経過いたしました。本日は、高齢者の認知症の予防・改善や障がい者の自立支援を強く願っている方々が、学習療法という一つの学びの下に会して、その対応策の糸口を探る初めての研究会となりました。今ここにお集まりいただいた方々が核となって、正しい学習療法の進め方を学び合い、それぞれの事業所で予防や改善事例を発信することで、地域への広がりを進めて行くことになります。本日は、理事会役員である「みずほ厚生センター」さんの施設をお借りして、いろいろと学ばさせていただきます。また、12月には「中津総合ケアセンター いずみの園」さんでの研究会開催を予定しています。このように、まず今年度は理事会役員の事業所さんを中心として、学びの場を県下全域に設けて、共に学ぶ会員の輪をどんどん広げていきましょう。

《9/11第3回理事・育成士PJ 当日プログラム》

<1部 14:00~>

みずほ見学⇒聖心園見学⇒四季の郷見学

<2部 15:00~> 進行 吉良事務局長

- 首藤会長の挨拶
- 大塚理事長の挨拶
- センターメッセージ
- 実践発表
 - ・グランドホーム古国府
 - ・いずみの園
 - ・聖心園
 - ・和光園
- グループ討議
 - ・理事と育成士4グループ

<3部 17:00~>

- 親睦会



学習の様子を見学する参加者



開催会場となり、受入れの挨拶をするみずほ厚生センターの大塚理事長

■ 事例発表

① 介護付有料老人ホーム グランドホーム古国府 甲斐 好彰

業務繁忙を理由に「出来ない」から「出来る」を課題として、まずは業務別に関わる総時間と職員一人に関わる時間を洗いだした。その結果、おやつ時間帯の検討を含む、業務見直しに着手している途中経過を発表された。検証して行く上で新たな課題も出てきた。テーマである「仕事が楽しいと思える職場づくり」はどのような方法で評価するのか？業務見直しはこれだけでいいのか？一旦、11月に総括をして次のステップの足がかりとしたい。

①



② 中津総合ケアセンター いずみの園 岡市 理佐

6年間の歩みと成果について、半年に1回実施しているMMSE・FABの定期評価においても認知機能が比較的維持されていることが検証されている。また、昨年導入5周年記念イベントとして表彰式を行ったところ、「明日からまた頑張ろう」と入居者の方が笑顔で言われた。今後も年に1回のイベントを開催したり、正しい学習療法の進め方を職員間で周知徹底し、目標シートを作成して、入居者がその人らしく生活できるように学習療法を通じて支援していきたい。

②



③ みずほ厚生センター 聖心園 川上 恵子

平成20年12月に、初となる知的障がい施設（ダウン症・自閉的傾向分野・視覚障がい含む）での学習療法の導入を開始される。紹介された事例T・Kさんの支援内容については、ルーペを使用し、明るさに配慮、数字盤の駒1～10を白地から黒字に工夫、補聴器使用で声のトーンに注意、そして徹底した自立支援に努めている。また特筆すべき点は、全職員で支援に取り組んでおり、学習者の学習回数は、週5回実施は当たり前で、ご利用者・職員の間で習慣化している。今後も、ご利用者の様々な特性に応じた学習の提供をめざしていきたい。

③



④ 介護老人保健施設 和光園 仲島 千秋

和光園のこれまでの認知症ケアの取組みについて紹介します。H21年に全員が学習療法士1級を取得し、11名が大分県認知症介護実践リーダー研修に参加し、センター方式を参考に「私の支援シート」を導入した。また認知症サポーター研修に100%達成を目指し70名参加しました。そしていよいよ今年度は満を持して、くもん学習療法強化を設定し、計画を進めています。

★吹田副会長よりメッセージ

8/4に家族会を開催し、多くの方々の理解を得、15家族より新規の申し込みがある。また10/20に地域に認知症の予防改善を考える講演会や勉強会を予定しており、ぜひ大分導入施設の皆さまにご参加をいただきたい。

④



■グループ討議



事例をもとに各事業所の取組みなどを話し合う参加者のみなさん

■3部 懇親会

3部では、さらにより深く掘り下げた話が繰り広げられていました。1部の研修会に参加されたほぼ全員の方が2部の懇親会にも参加され、このような「場」が、回を重ねる度に大きく結集された力となっていけると強く感じました。発表内容・グループ討議の続きが本音で話し合われました。



臼杵の海の幸を介して更に懇親を深めている様子

◎第3回研究会に思うこと◎ (大分学習療法研究会会長 グランドホーム古国府 施設長 首藤毅志)

今回は、来年5月に予定している「福岡シンポジウム」での事例発表を目標に、4つの事業所からこれまでの取り組みや新たな目標設定が紹介されました。どの発表からも、学習療法の学びを深めて、利用者様のため、職員のスキルアップのために真剣に取り組んでいることが伺えました。

また、2部として行われた懇親会でも、参加者ほぼ全員が出席し、さらなる情報交換の場として盛り上がりました。大分学習療法研究会の第一歩としては、上々の滑り出しだったように思います。

「福岡シンポジウム」開催や「Do you know what my name is?」の全国公開など、今後の学習療法推進の原動力となる「追い風」はすぐそこに来ています。私たちは、研究会という船をつくり、その活動という「帆」を張りさえすれば、あとは、それぞれが目指す目的地へと風が導いてくれることを確信しています。そのために、今回のような情報交換の場を広い地域で展開し、会の輪を大きくしていくことが大事だと感じた研究会でした。

■次回の予告

12月7日(土) 13:00～

いずみの園で第4回理事・育成士PJ会 & 育成士勉強会(午前は育成士養成研修会)が開催されます。(別途 ご案内)

■お知らせ

10月20日(日)和光園にて 信和祭(9:30～13:00)が執り行われます。

当日は山鹿中央病院の原先生「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」

センター伊藤副代表「認知症の予防と改善を考える」がございます。

また午後より伊藤副代表による全職員勉強会が行われます。(別途 ご案内)

ぜひ、大分理事の皆さまにはご参加をお願い致します